

令和 8 年度

大学院薬学研究科(博士前期課程)入学試験問題

外国語科目

『英語（化学）』

令和 8 年 2 月 21 日

受験番号	氏名

【問１】 次の文章を和訳しなさい。

※この部分は、著作権の関係により掲載できません。

【問２】 次の文章を和訳しなさい。

※この部分は、著作権の関係により掲載できません。

【問3】 次の文章を和訳しなさい。

※この部分は、著作権の関係により掲載できません。

出題意図

【問 1】この英文の出題主旨は、共有結合性リガンドの化学反応性や分子認識性、酵素活性阻害やアロステリック修飾によるタンパク質機能の調節、さらに低分子誘導近接化戦略やケモプロテオミクスによるリガンド結合部位の同定など、専門的な化学・生物学（生物有機化学）の概念を英文で正確に理解できるかを評価することです。（出典：J. Med. Chem. 2026, 69, 1303–1321）

【問 2】この英文の出題主旨は、論文に記載された実験手順の英文を正確に読み取り、日本語に翻訳できるかを評価することです。単に文章を理解するだけでなく、酵素活性測定や濃度計算、希釈系列、反応条件など、実験化学・分子生物学の基礎知識を踏まえて英文を正しく解釈できるかを確認することです。（出典：ACS Cent. Sci. 2021, 7, 803–814）

【問 3】この英文の出題主旨は、1896 年にパウル・ヴァルデンが発見した、(+)-マリック酸と (-)-マリック酸が一連の化学反応（置換反応）で互いに変換でき、キラル中心の立体配置が反転することに関する内容を読解させる点にあります。また、この発見が光学活性の研究で画期的であったことも含め、化学用語や歴史的背景を理解できるかを評価することです。（出典：McMurry Organic Chemistry, Chapter 11, p. 359）